

Microsoft Teams自動同期ツール TeamSyncのご紹介

パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社



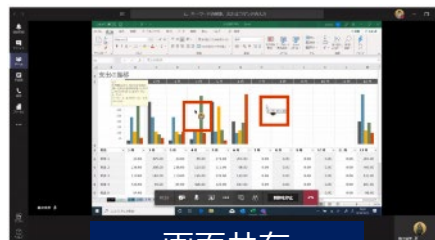
導入が進むMicrosoft365 Educationは、2015年2月時点ですでに国内70%(※1)の大学に導入されています。その中のMicrosoft Teamsは特に遠隔授業に適したツールとして様々な大学で利用が加速しています。

※1. 以下、日本マイクロソフト社より出展

<https://news.microsoft.com/ja-jp/2015/02/24/150224-office365edu>



会議
チャット



画面共有
リモート操作



ファイル共有
同時編集

また、一部製品の教育向けライセンス有料化に伴い、Microsoft365をご契約している教育機関でTeams活用を推進するケースが増えています。

しかし、いざ Teamsでの遠隔授業をはじめると、数千・数万もの履修科目を Teamsへ手入力で運用するには大きな問題があることに気付きます。

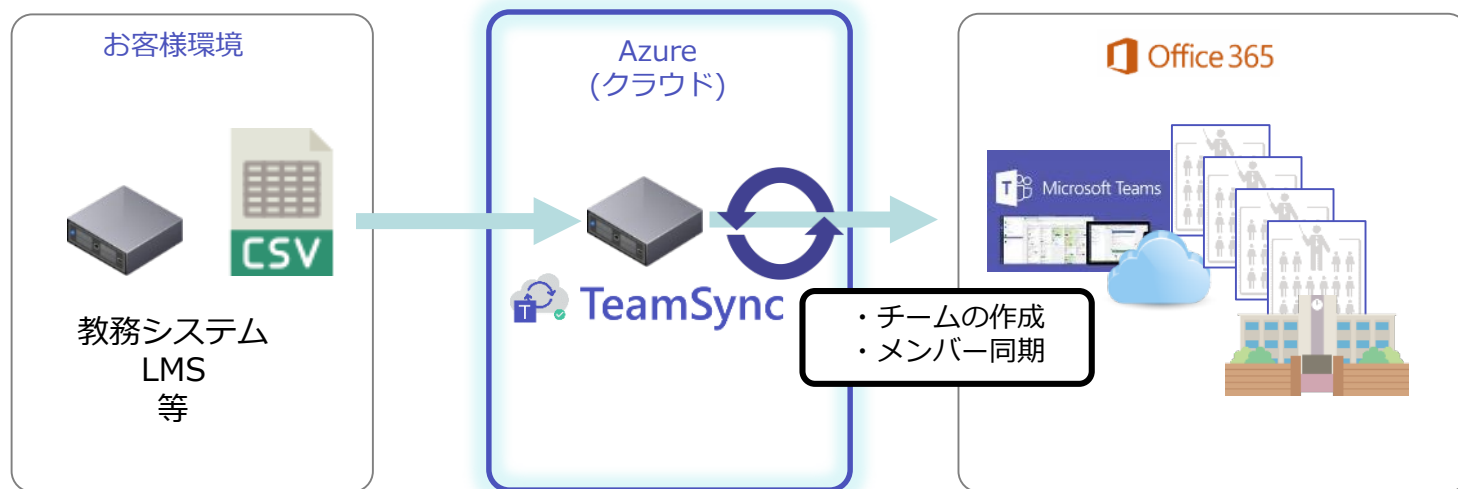
- 膨大な数のチームを手作業で作成する必要がある
- 更にそのチームに対して履修者を登録する必要がある
- 履修登録期間中、チームのメンバーは頻繁に変更が発生する
- 手作業だと登録漏れやオペミスが発生する可能性がある
- 前期・後期、年度が変わる度に毎回登録作業が発生する

手作業で運用するのはちょっと現実的じゃないな・・・



TeamSyncを導入すれば、教務データが出力するCSVデータを使って、チーム作成やメンバー登録・変更を自動化できます。

※ 開発元 株式会社コラボレーションシステム



自動的なチーム作成・同期のおかげで負担が激減した。
Teamsの活用を学内にも促進しやすくなる！



多数の教員が在籍する大学には多様なニーズがあります。自動同期以外にも先生自身で希望する操作を行えるよう、先生毎の管理画面を用意しています。

担当授業に対して選択可能な操作・設定

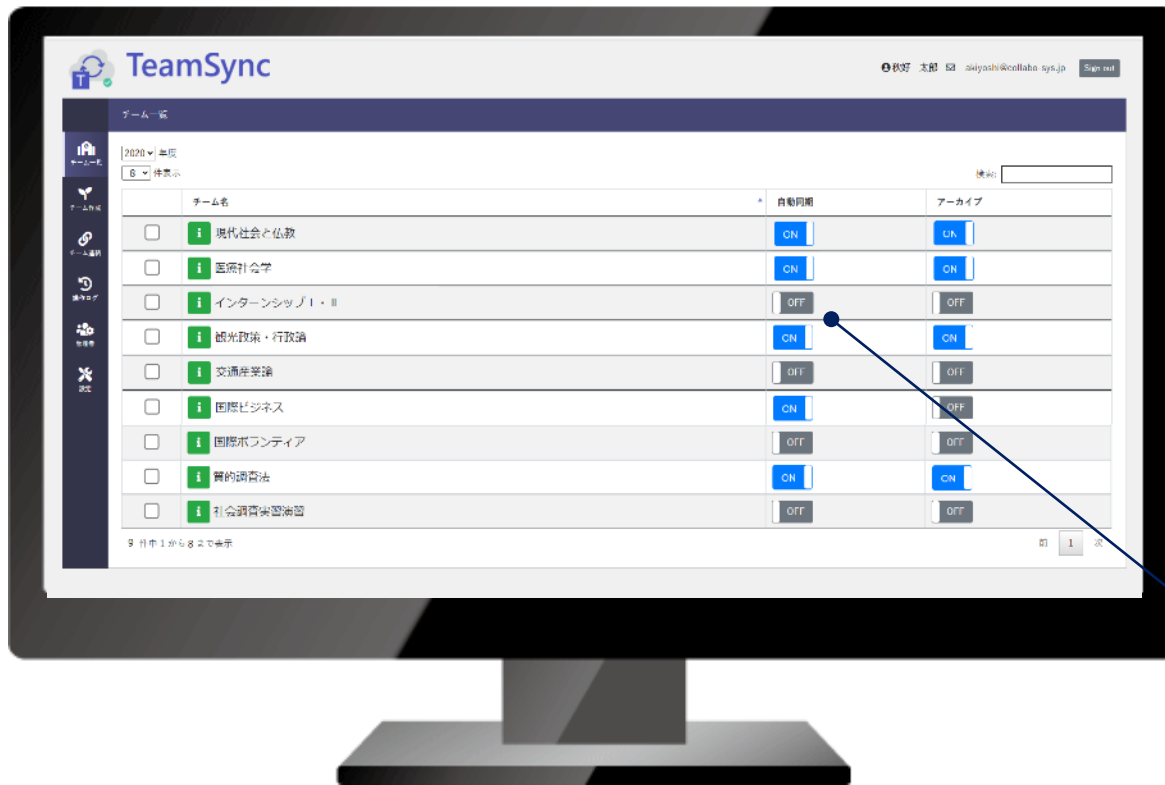
操作	内容
自動同期(ON) (デフォルト)	教務システムからのCSVデータと同じチーム/メンバーで自動同期するよう設定。 ※手動で変更しなければこのモードがデフォルト。
自動同期(OFF)	他の遠隔授業のツールで運用しているなどにより同期したくない場合。
教務システムから同期	教務システムからのCSVデータと今すぐ同期したい時。
CSVファイルから同期	テンプレートから作成した個別CSVデータから同期。
履歴から同期	日次で保存される履歴データから所有者、メンバーを同期。
アーカイブ(ON)	アーカイブして、Teamsに表示されないようにする。
アーカイブ(OFF)	アーカイブを解除して、Teamsに表示されるようにする。

1. ログイン画面

(使い慣れたMicrosoft365と同じログイン画面)

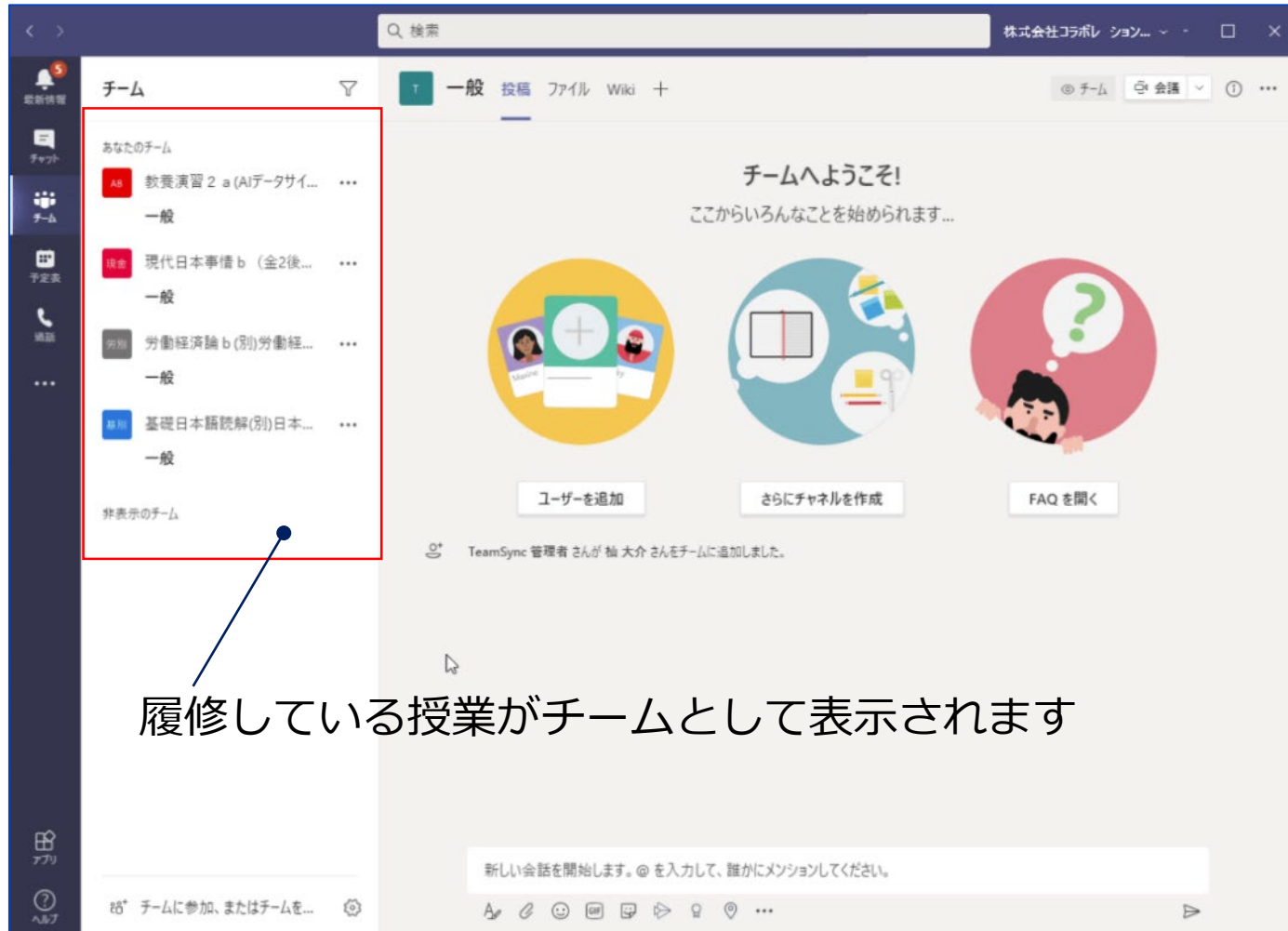


2. 担当授業(所有者チーム)の一覧



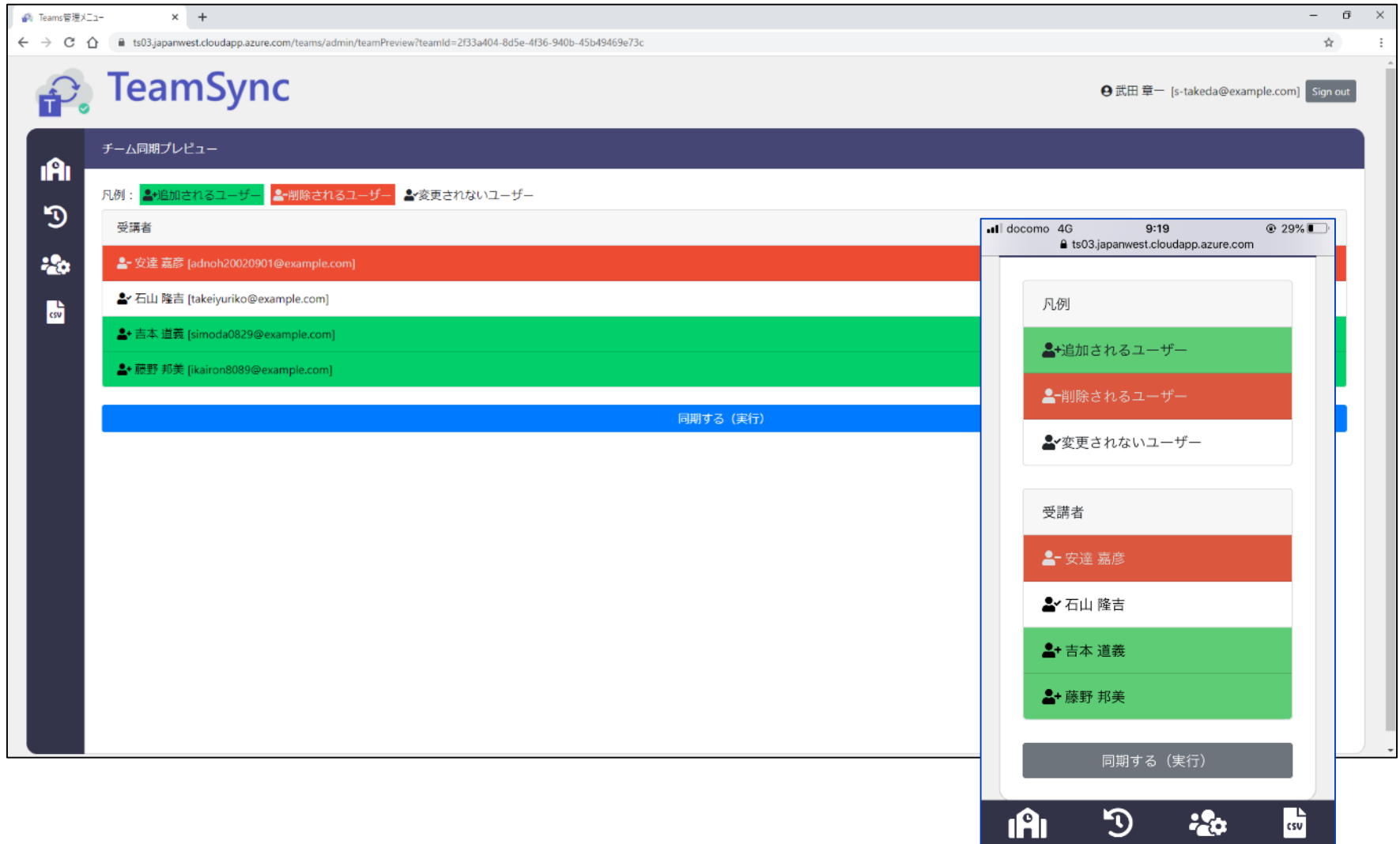
自動同期・アーカイブ対象にするチームを選択

3. 学生側のTeams画面(自動同期された授業)



履修している授業がチームとして表示されます

4. 手動での同期画面（先生や管理者が急いで同期したい場合に実施）



5. 操作ログ画面

The screenshot displays the 'TeamSync' 'Operation Log' (操作ログ) interface. The desktop view shows a table of log entries with the following data:

実行日時	チーム名
2019/10/04 18:17:39	2020年度 前期 水 4 Webプログラミング演習
2019/10/08 04:22:15	2020年度 前期 金 3 ハードウェア実験Ⅱ
2019/10/23 01:01:48	2020年度 後期 金 2 数理的教養Ⅲ
2019/11/01 15:43:23	2020年度 前期 金 2 ヒューマンコンピュータインタラクション
2019/11/03 23:15:07	2020年度 前期 木 3 データ構造とアルゴリズムⅡ
2019/11/08 18:55:49	2020年度 前期 木 3 データ構造とアルゴリズムⅡ
2019/11/20 07:21:28	2020年度 前期 金 2 ヒューマンコンピュータインタラクション
2019/11/20 22:31:47	2020年度 後期 火 4 離散数学Ⅱ
2019/11/24 17:07:12	2020年度 前期 水 1 ハードウェア設計Ⅲ
2019/11/26 11:45:46	2020年度 前期 水 4 Webプログラミング演習

The mobile view shows a simplified version of the interface with a search bar and a table of log entries. The table data is as follows:

実行日時	チーム名	実行者
01/03 00:29:10	水 1 ハードウェア設計Ⅲ	森下 宗司
	水 3 情報	

先生が出来る機能プラス、操作ログの参照、管理者の追加などが可能です。

全ての授業に対して以下の操作が可能です。

管理者	先生	操作	内容
○	○	自動同期(ON) (デフォルト)	教務システムからのCSVデータと同じチーム/メンバーで自動同期するよう設定。 ※手動で変更しなければこのモードがデフォルト。
○	○	自動同期(OFF)	他の遠隔授業のツールで運用しているなどにより同期したくない場合。
○	○	教務システムから同期	教務システムからのCSVデータと今すぐ同期したい時。
○	○	CSVファイルから同期	テンプレートから作成した個別CSVデータから同期。
○	○	履歴から同期	日次で保存される履歴データから所有者、メンバーを同期。
○	○	アーカイブ(ON)	アーカイブして、Teamsに表示されないようにする。
○	○	アーカイブ(OFF)	アーカイブを解除して、Teamsに表示されるようにする。
○		ログ参照	誰がどのチームにどんな操作を行ったか参照できます。
○		管理者の追加	管理者を追加することができます。
○		ポリシーの設定	自動同期の時刻、自動アーカイブのルールなどを定義できます。

すぐに始められるクラウド (Microsoft Azure)でのサービス提供となります。

ライト

ログインする先生数：50人まで
同期する授業数(チーム数)：500まで

ベーシック

ログインする先生数：500人まで
同期する授業数(チーム数)：5,000まで

エンタープライズ

ログインする先生数：無制限
同期する授業数(チーム数)：無制限

各プランの機能差はありません。

【サービスの前提条件】

- ・本サービスはSaaS型のサービスとなります。
- ※オンプレミス環境への導入は個別のご相談となります。

【システム要件】

- ・ Office365が契約済みであること
- ・ 学内にActiveDirectoryが導入されていること
- ・ ActiveDirectoryとOffice365がID連携済みであること
- ・ 教務システムからCSV出力が可能であること

【CSVに最低限必要な項目】

- ・ 授業名,一意の授業コード,前期後期,何曜日何限か
- ・ 授業コード,学生のID,
- ・ 授業コード,先生のID,

【その他】

- ・ 導入時及びサポート用にOffice365の管理者IDを1つ作成していただきます。

TeamSyncをはじめ、大学システムに関するあらゆる疑問にお答えする「オンライン無料個別相談」を実施しています。「とにかく聞いてみたい」という方も、経験豊富な担当者が承りますので、お気軽にご相談ください。



お問い合わせフォームはこちら

お問い合わせ先

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

E-mail : sales-pisc@ml.jp.panasonic.com



※本資料に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。